

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.23
2015.6



Contents

あいさつ	1
教職員紹介	2
大学の出来事	7~8
施設紹介	9~10

シリーズ 教員Interview	5
トピックス 三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム	6



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

新任のご挨拶 理事長兼学長

早川 和生



平成27年4月に三重県立看護大学の理事長兼学長として新しく着任いたしました。前任の大阪大学医学部保健学科看護学専攻には教授として21年間勤務し、看護学の教育と研究に携わって参りました。私は愛知県の生まれですが、元々家系的には三重県伊勢市が出身地であることから、今般、三重県で県立看護大学に勤められることは大変嬉しく思っています。本学は地域との強い連携により、「看護学の知の拠点」として三重県内で最初の看護系大学として設置された大学であり、今までの長年の高度な看護学教育の実績を積み重ねてきました。私はこれらを基盤にして、現代社会の健康問題を深く見通す能力と強いナーシングマインドを有し、地域や世界で病苦と戦う人々

のこころと身体を支える科学的基盤の構築と新しい看護実践技術の開発研究を行うと共に、既存の保健・医療・福祉の分野を超えて幅広い領域において県内はもとより国内外でグローバルに世界的に幅広く活躍する看護学のエキスパートの人材養成を目指したいと思います。

また、2014年には「保健師看護師助産師法」が改正され、従来は医師が行っていた行為が規定の範囲内で看護師も実施可能になったことから、今後は新しいタイプの「看護の達人」の養成も視野に入れ、近年の著しく進展する医療の中であって、豊かな感性と高い倫理観と強い責任感を持った臨床現場の指導的人材の育成を目指したいと考えています。

微力ながら、大学発展のために全力を尽くす覚悟でおりますので、大学関係の皆さまのご支援をいただきますようお願いいたします。

Profile

- 略歴： 昭和45年 愛知県立刈谷高校卒業
昭和49年 千葉大学教育学部看護教員養成課程卒業
昭和55年 州立ハワイ大学大学院看護学研究科修士課程修了(CNS課程)
昭和63年 医学博士の学位取得(近畿大学)
- 職歴： 昭和50年 財団法人復興会 総武病院(看護師)
昭和53年 近畿大学医学部公衆衛生学助手
平成6年 大阪大学医学部保健学科看護学専攻教授
平成15年 大阪大学大学院医学系研究科統合保健看護科学分野教授

新任のご挨拶 副理事長兼事務局長

松田 克己



本年4月、三重県立看護大学の副理事長兼事務局長に就任しました松田です。着任して感じるのは、素晴らしい環境と、何よりも公立大学として誇るべき実績や伝統が本学にはあるということです。また学生の皆さんも優秀で、礼儀正しく、優しいです。この大学の雰囲気を大切にしたいと思います。

さて、平成21年4月に地方独立行政法人化した本学は、本年度から第二期中期目標・中期計画が始ま

ります。本年は、新しい学長を迎えて、まさにスタートの年です。私たち教職員と学生の皆さん、そして本学を支える多くの人々が力を合わせて、新しい歴史をつくっていくのです。

これまで事務職として県立病院の運営や病院改革の業務に従事したことがありますので、今回また、県民の保健、医療の分野に関わることができて大変嬉しく思うと同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

関係の皆様と共に、学長を支えて質の高い看護職者の育成に努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

教職員紹介

母性看護学 教授 大平 肇子

いつも学生たちの自由な発想力とやる気・行動力に感嘆しています。今後、地域の皆さんとともに、母子保健活動にも努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

老年看護学 教授 小松 美砂

4月より老年看護学担当として着任しました。高齢者から学ぶ姿勢を大切に、老年看護を探究していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新任教員



英語 准教授 林 姿穂

研究分野はアメリカ文学です。これまでTOEICやリーディングの教科書なども執筆してきました。英語や英語圏の文化に少しでも関心を持ってもらえるよう楽しい授業にしたいと思っています。

地域在宅看護学 講師 大村 佳代子

これまで大阪の市立病院、訪問看護ステーション、有料老人ホームなど、プライマリケアの現場で看護師として働いてきました。地域在宅看護の大切さ、そして面白さを、学生の皆さんとともに真摯に学んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

実践基盤看護学 助教 鈴木 聡美

本学に4月に着任した鈴木です。学生さんたちと一緒に、看護について深く考えることができるような教員を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域在宅看護学 助教 井倉 一政

これまで、多職種連携協働、QOL、生活習慣病、思春期精神保健などをテーマに活動を行ってきました。保健師の魅力を多くの方に知っていただけるように努めてまいります。

精神看護学 助教 田中 晴佳

本年度4月より精神看護学の助教として就任いたしました。はじめて教員として働かせていただきます。まだまだ未熟ですが、よろしくお願いいたします。

小児看護学 助手 上杉 佑也

主に小児科の看護師として働いてきました。新米教師ですが、自分が感じてきた看護の魅力を皆さんに伝えられたらと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

母性看護学 助手 堂本 万起

大学病院で助産師として、7年間勤務し、このたび大学で助手として働かせていただくこととなりました。たくさんの方を学ばせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

地域連携特任教授 前山 和子

この3月に県保健師を退職し、4月から地域交流センターと教務学生課を兼務しています。初めての大学勤務で、毎日ドキドキ、ワクワクの連続です。よろしくお願いいたします。

実践基盤看護学 助手 中瀬 貴子

この度、看護と教育について1年間学ばせていただく事になりました中瀬です。多くの事を感じ、学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

新任教員



附属図書館 上嶋 恵

4月から図書館に勤務しております上嶋です。久しぶりの社会復帰となりますが、皆様のご指導を頂いて、少しでも利用者の方々のお役に立てるよう、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館職員 池永 悠人

皆さん、こんにちは。2月より図書館にて勤務しています池永です。まだまだ未熟さを感じる日々ですが、少しでも早く皆さんに頼りにして頂けるよう、努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

総務課 主幹 山口 嘉章

4月から総務課に赴任してきました。学生の皆さんの大学生活が充実したものとなるよう、日々努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総務課 主事 佐々木 智紀

4月から採用され、総務課にて主に研究費の担当をしています。皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

教務学生課 主事 北村 友美

4月から教務学生課に配属になりました北村です。学生の皆さんとの距離が近い仕事なので、充実したサポートをしていけるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

附属図書館



事務局



企画広報課 業務職員 田中 洋子

4月から企画広報課で仕事をしております。主に地域交流センター関連の仕事をしています。9月までの短い期間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

企画広報課 業務職員 田中 麻由

4月から企画広報課で勤務しています。広報関係の仕事は初めてで、周りの皆さんにサポートしていただきながら努力していきますので、よろしくお願いいたします。

臨床教員

- 臨床教授 犬飼 さゆり(三重県立こころの医療センター)
- 臨床教授 川島 いづみ(地方独立行政法人 三重県立総合医療センター)
- 臨床教授 辻 恵子(社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院)
- 臨床教授 眞砂 由利(松阪市民病院)
- 臨床准教授 石垣 麻里子(地域医療支援病院 四日市市立四日市病院)
- 臨床准教授 奥田 美香(地方独立行政法人 三重県立総合医療センター)
- 臨床准教授 佐藤 里絵(地方独立行政法人 三重県立総合医療センター)
- 臨床准教授 田中 千裕(社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院)

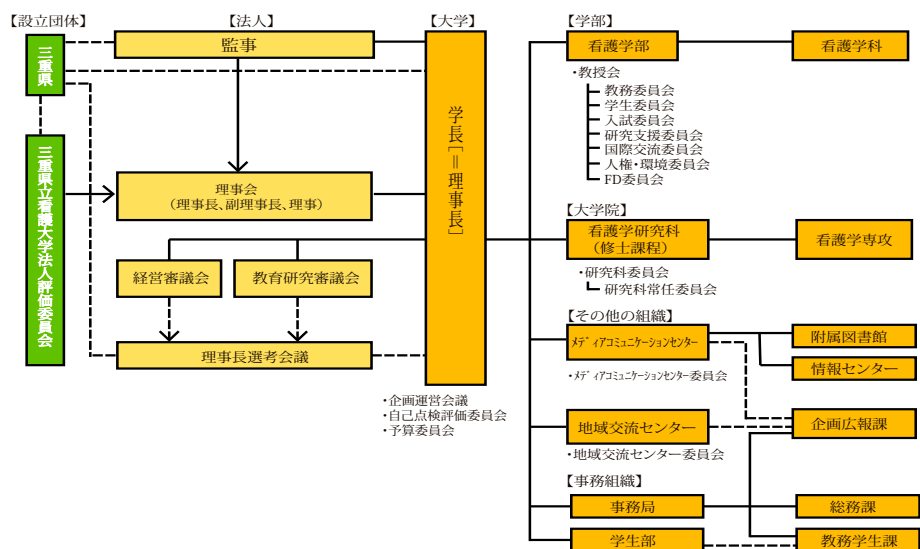
- 臨床准教授 瀧口 早弓(三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院)
- 臨床准教授 前川 早苗(三重県立こころの医療センター)
- 臨床講師 栗谷 亜紀(社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院)
- 臨床講師 東岡 史(独立行政法人国立病院機構 三重病院)

※臨床実習の指導等に関わる教員

昇任

- 母性看護学 助教 岩田 朋美(平成26年10月1日付)
- 基礎看護学 講師 灘波 浩子(平成27年4月1日付)
- 基礎看護学 助教 菅原 啓太(平成27年4月1日付)

公立大学法人 三重県立看護大学 運営組織図



退任のご挨拶

村本 淳子



平成10年4月1日、三重県立看護大学が開学した2年目に私は母性看護学の教授として東京から落下傘部隊のように三重の地に着きました。そして平成13年4月からは学生部長を兼務し、さらに平成19年9月から学長として、通算17年間の長きにわたり、お世話になりました。その間、平成21年4月には、本学が地方独立行政法人化し、初めての理事長兼学長を拝命いたしました。

平成27年3月で法人化第一期6年間が無事終了し、私も任期満了となりました。とくに法人化後の6年間は経営者として多くの新鮮な経験をさせていただきました。

この間、看護系大学の数は激増しましたが、三重県立看護大学は平成9年4月の開学当初より“質の高

い看護実践家の育成”を教育理念に掲げ、単科の公立大学として“地域に密着し、地域に貢献する看護大学”として確実に発展してきました。そして三重県内の看護のリーダーを育成すると共に国内外も意識した大学教育を展開してきました。その結果、単科の小規模大学ではありますが、現在全国に注目され、輝く大学として急成長してきています。三重県立看護大学のこの成長は、平成27年4月から早川和生新理事長兼学長のもと、第二期中期目標・中期計画によりさらに加速していくことになると思います。

今後ますます三重県立看護大学が、充実、発展していかれまますよう陰ながら応援していきます。

本当に長期間にわたり、ご支援いただきありがとうございました。最後に、教職員の皆様、後援会、同窓会、地域の方々、そして大学をご支援してくださっている多くの皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【平成27年3月に退職の教員】

学長

学長 村本 淳子

教員

特命教授 山口 和世

教授 若林 たけ子

准教授 船越 明子

准教授 秋山 明子

講師 山路 由実子

講師 井上(橋本) 秀実

講師 藤田 佳子

助教 河合(平田) 育世

助教 上國料(森山) 美香

特任助教 西澤 麻里子

助手 栗谷 亜紀

助手 横田 佑二郎

【平成27年3月に退職・転出の職員】

職員

事務局長 伊藤 隆

主幹 前川 宏行

主幹 石黒 幸代

契約職員

業務職員(事務) 粉川 紗規子

業務職員(事務) 東 りさ

業務職員(技術) 谷口 洋子

業務職員(技術) 丹羽 律子



平成27年度入学式

平成27年4月3日（金）に、平成27年度の看護学部および大学院看護研究科の入学式を挙行了しました。看護学部では、難関をくぐり抜けた102名を新入生として迎えました。また、大学院研究科では7名が入学しました。新入生を代表して井口琴美さんが、入学の決意を宣誓しました。教職員一同、全ての新入生が充実した大学生活を送れるようにサポートしていきます。



平成26年度看護学部卒業式・大学院修了式

平成27年3月15日（日）に、平成26年度の本学看護学部の卒業式および大学院看護学研究科の修了式が行われ、看護学部生94名、大学院生3名が新たに本学を巣立ちました。看護学部最優秀生として前川恵里さんが表彰され、卒業生・修了生の代表として謝辞を述べました。本学の卒業生・修了生であることを誇りに思い、心豊かな人生を歩まれることを願っています。



健康コラム



生理学 健康科学
大西 範和 教授

突然の捻挫や肉離れにすぐライス(RICE)

お米のお話ではありません。捻挫や肉離れ突き指など(特にスポーツなどで)をしてしまった時には、RICE処置という応急処置を早く行って、病院に行くことが勧められます。RICEは頭文字を並べたもので、Rは、Restで休ませること、Iは、Iceで冷やすこと、Cは、Compressionで圧迫すること、Eは、Elevationで上げることです。これらは、傷ついた組織の代謝を低くしたり、そこへの血流を減らしたりする効果があって、腫れを抑えてくれます。腫れが大きくなると、圧力で血流が妨げられ酸素が行き届かなくなったりして、怪我をした部分の周囲まで悪化してしまい治りが遅くなります。捻挫や肉離れというと冷湿布薬がよく使われますが、少し深いところにある筋肉などを冷やすためには、実際に氷などで冷やす方が効果的です。冷やす時には、皮膚の表面が凍傷にならないように気をつけ、保冷剤を使うのなら布などを挟んで冷やしすぎないようにします。15分程度は冷やしたいですね。怪我をしたところに氷をあて、包帯などを巻いて軽く圧迫し、上げてじっとしていればRICE処置の完成です。でも、これはあくまでも応急処置です。自分で勝手に判断せず、早めに専門のお医者さんにかかってくださいね。



教員 Interview

早川新学長にお伺いしました。

Q. 学長は、以前 大阪大学ツインリサーチセンターのセンター長をされていましたが、ツインリサーチセンターはどんなことをするところですか？

A. 中高年の双子の方の協力を得て、生活習慣病の予防を研究する日本で最初の研究機関になります。子どもの双子の研究は昔からあり、例えば東京大学教育学部では、東京大学付属の中学校・高等学校に優先的に双子の方を入学させ、教育の効果を遺伝および環境の面から調べています。一方、大人の双子の研究は進められておらず、私が研究を始めました。すると、一卵性の双子の方で、ほぼ100%同じ遺伝子を持っていても病気や死亡年齢などに差が出ることから、何らかの環境が影響しているということが分かってきました。



Q. なぜ、双子の研究をはじめられたのですか？

A. 実は私の家内が二卵性の双子で、結婚してから双子の研究を始めました。つまり、結婚以来、ずっと双子の研究をしているようなものです。

Q. どのようにして研究をされたのですか？

A. 大人の双子の研究がされていなかった一因として、対象になる双子の方を探すことの難しさがありません。住んでいる場所、職業などがさまざまだからです。

そこで、開業助産師さん（産婆さん）に協力をいただいたり、新聞や月刊誌の募集広告を出すなどして、5年間で1万2千組の双子の方に集まっていただきました。

その集まっていた双子の皆さんに、生活習慣やライフスタイルなどのアンケートを実施したり、実際の健康状態を調査するため、医師や看護師とチームを組んで、車に機材をのせて全国を飛び回りました。

Q. 一卵性の双子というと、私たちのイメージとしては、同じ遺伝子で、顔も瓜二つという印象ですが、違いがあるのでしょうか？

A. 子どものときはそっくりですが、年をとったらかなり差が出るんですよ。極端な場合は、顔も赤の他人みたいになってきます。大人になってから、違う仕事、違う物を食べていくと、ものすごく差が出ます。一卵性でも、一人は認知症になっているのに、一人はバリバリ働いているという例もあります。寿命で20年の差がつくこともあります。ひとつおもしろいのは、「配偶者」が寿命に影響していると思われていることです。配偶者って最大の環境因子なんですね。若い時、どんな人と結婚したかによって寿命が変わってくる可能性があるんです。

Q. 同じ遺伝子でありながら、こんなに差が出るとは正直驚きました。この双子研究によって、どのようなことがわかりますか(まとめ)

A. 双子の研究により、遺伝子が同一でも、生活習慣やライフスタイルによって病気にかかるかどうか異なるということが分かっています。また、コレステロールなどのいわゆる健康指標について、環境もしくは遺伝のどちらが要因なのか推定をすることができます。これにより、環境因子の高い部分について、保健指導などの働きかけにより、疾病の予防、改善をすることができますと考えています。日本の医療費は年間約40兆円あります。その3分の1は生活習慣病です。双子の研究はその予防に効果が発揮できる研究だと思っています。



三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム

平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」テーマⅢ高大接続に本学が提案した「三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム」が採択されました。

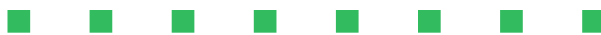
「大学教育再生加速プログラム」とは、これまでの大学教育改革支援事業等により実施された教育改革に関する実績を踏まえた上で、教育再生実行会議（「教育再生実行会議第三次提言（H25.5.28）」、「同第四次提言（H25.10.31）」）等で提案された国として進める改革の方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を文部科学省が支援する事業です。

本事業は、全国の高等教育機関を対象に公募され、合計254件の応募があり、46件が採択されました。うち、テーマⅢ高大接続では本学を含む5件が採択されています。

「大学教育再生加速プログラム」に採択された本学の取組（平成26年度～平成30年度）は、平成23年度から実施している「高校生のための看護職者キャリアデザイン講座」を県教育委員会・県内高校との連携強化によりさらに充実させるとともに、医療機関との連携も強化し、看護職者をめざす学びに対するモチベーション及び質の向上を図り、入学前から卒業後に至るまで一貫して、地域の保健医療を支える質の高い看護職者の育成をめざすものです。



大学教育再生加速プログラム



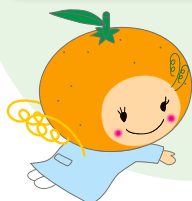
大学教育再生加速プログラムの取組の一環として、平成26年12月13日（土）に「三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム交流会」を開催しました。

これは、平成26年度に初めて開催したもので、推薦入試による31名の入学予定者の皆さんとその保護者の方にご参加いただきました。

入学準備教育、三重県内の保健医療・修学資金についての説明の後、三重県内の10の医療機関から自院の特色や教育体制等のPRをしていただきました。その後、14の医療機関による個別相談が行われました。参加者の皆さんからは、「具体的な話が聞けてよかった」、「看護職への不安が消し去れた」、「入学までの学習の意欲が湧き、将来のことを考えるきっかけになった」と大好評でした。

また、参加いただいた医療機関の方からも「他の病院の様子を知ることができて参考になった」、「保護者の方に直接伝えることができたのは有意義でよい機会となった」という声を頂戴しました。

入学予定者の皆さんにとって、看護職としての将来像に対する具体的なイメージの形成と本学入学後の学修に対するモチベーションの向上につながる貴重な機会となりました。





大学の出来事

教育懇談会

平成26年9月13日(土)に教育懇談会が開催されました。平成26年度はご夫婦で来学された方が多く、予想以上に多くの保護者の方に来ていただくことができました。村本学長の挨拶の後、玉田学生部長から学生の修学状況について報告を行いました。個別面談では、学生の修学状況や将来の進路、就職先についての相談が寄せられ、保護者の方が気にかけておられることを聞かせていただく貴重な場となりました。健康チェックのブースも例年通りの賑わいでした。



三重県内病院（施設） 看護管理者の方々との意見交換会について

本学では、例年、看護・介護の第一線でご活躍されています看護管理者の方々をお招きして本学の看護教育等の取組の説明と意見交換を行っています。

平成26年9月30日(火)に県内33病院（施設）の看護管理者の方々に参加いただき開催しました。

当日は、学長より「三重県の看護の状況」についてお話をするとともに、地域交流センター事業、看工連携事業、大学院教育について説明いたしました。

また、意見交換では、本学が平成26年度に実施した認知症ケア看護師養成研修に関することや地域の課題、看護師の育成・教育方法など多くの意見をいただき、今後の本学の方向性を考える上で大変有意義な意見交換会となりました。



サンバレー健康ひろば

平成26年11月29日(土)にイオン津南ショッピングセンターイベントホールで「三重県立看護大学 健康ひろば4～家族みんなで健康チェックしてみよう～」を開催しました。この催しは、本学と、株式会社キャリアプレイス、イオン津南ショッピングセンターの主催・協力で行われました。来場者の方々には、「骨密度」、「血圧」の測定、「血管年齢&ストレスチェック」、「アルコールパッチテスト」に加え、豪華賞品が当たる「みかんだいクイズ」を行い、家族連れから高齢者の方々まで多くの方の参加をいただきました。



県民の日記念事業に参加しました

平成27年4月18日(土)に三重県総合文化センターで開催された「平成27年度県民の日記念事業」に、本学も参加しました。本学のブースでは「血管年齢&ストレスチェック」、「血圧」、「貧血」の測定や、「アルコールパッチテスト」を行い、100名以上の方にお越しいただきました。

健康に対する県民の皆さんの関心は高く、測定結果について、多くの方から質問が寄せられました。また、学生の活気あふれる姿と丁寧な対応に喜んでいただくことができました。



卒業研究発表会

平成26年12月22日（月）、改修された大講義室など5つの会場を使用して、平成26年度卒業研究発表会が開催されました。看護の専門領域を中心に16領域に分かれた4年生92名が、4月から取り組んできた研究テーマについて、それぞれ発表を行いました。発表内容も成績評価に含まれるため、最初は緊張しながらも1年間の努力が感じられる力作ばかりで、最後には一人一人が自信に満ちた良い表情になっていました。大学4年間の学びの結実であるとともに、臨床での看護研究に向けての準備が整ったことが感じられる発表会となりました。



修士論文発表会

平成26年度の修士論文発表会は、前期と後期に実施されました。修士論文では母性看護学分野2名、精神看護学分野1名が、特定課題論文（専門看護師コース）では精神看護学分野1名が研究成果を発表しました。発表会では、各々緊張した面持ちながらも、会場からの質問に真摯に回答していました。この4名は、いずれも教育や臨床に携わる社会人学生であり、仕事と研究の両立を図りながら、看護学の発展や看護実践の質の向上に寄与する魅力的なテーマに取り組みました。彼らの姿は、修士課程1年の社会人学生にとって、一モデルとなったと確信できる発表会でもありました。



平成26年度 第1回公開講座

平成26年10月18日（土）に平成26年度第1回公開講座を開催しました。

講師に東京農業大学応用生物科学部教授の清水誠先生をお迎えし、「美と健康を支える腸、腸を支える食物」というテーマでご講演いただきました。腸は食べ物を消化吸収する器官ですが、実は私たちが食べた物に大きな影響を受けています。アレルギーやストレスとの関係など腸の不思議について興味深いお話をいただき、参加者からは「人間の身体は自分が思っているよりも深くおもしろい」「腸内環境を整えるために、良い食生活を心がけたい」等の声が聞かれました。

当日は224名の方にご来場いただき、またテレビ会議システムを使用して、県立総合医療センター（四日市市）、尾鷲総合病院（尾鷲市）にも講演の様子を配信しました。



平成26年度 第2回公開講座

平成26年12月7日（日）に平成26年度第2回公開講座を開催しました。

「一流スポーツ選手に学ぶ健康法～睡眠・食事・運動は正しい方法で～」と題して中京大学スポーツ科学部教授である湯浅景元先生にご講演いただきました。一流スポーツ選手の育成に携わった際のエピソードなどから、日常生活に不可欠な睡眠、食事、運動の大切さについてお話をいただきました。また実際に身体を動かしながら、正しい姿勢や椅子の座り方、効果的な運動方法などを教えていただき、参加者からは「楽しかった」「おもしろかった」「とても分かりやすく参考になった」などの声が聞かれました。

当日は327名の方にご来場いただき、またテレビ会議システムを使用して、県立総合医療センター（四日市市）と尾鷲総合病院（尾鷲市）にも講演の様子を配信しました。



平成26年度 第3回公開講座

平成27年1月31日（土）に平成26年度第3回公開講座を開催しました。

第1部は、三重県文化会館館長 梶吉宏先生指揮のもと、三重県唯一の子どもオーケストラ三重ジュニア管弦楽団によるコンサートでオーケストラの魅力を堪能していただきました。

第2部では、「みえてきた慢性疲労に陥るメカニズム」と題して関西福祉科学大学健康福祉学部教授で、大阪市立大学医学部疲労クリニカルセンター客員教授の倉恒弘彦先生にご講演いただきました。現在私たちの身近な課題となっている慢性疲労症候群をテーマに、疲れと脳の関係、笑うことの効果など、具体例を交えたとても興味深いお話でした。

当日は、尾鷲総合病院（尾鷲市）、伊賀市立上野総合市民病院（伊賀市）にも遠隔配信を行い、寒い日にも関わらず約390名の方にご参加いただきました。





みかんだい施設紹介

三重県立看護大学には、学生生活を充実させる施設がたくさんあります！

B 屋外運動施設



芝生が敷きつめられたグラウンドの他にはテニスコートもあります！

D 実習室



看護に必要な実技を学ぶため、いろいろな設備が揃った教室です！

CAMPU

テニスコート

グラウンド

B

G 体育館



体育実技の授業やクラブ・サークル活動で利用されています！

体育館

G

C

食堂

大駐車場

講堂

E

E 講堂



入学式、卒業式などの式典やさまざまな催しに利用される場所です！照明や音響設備が充実していて、約500名が一室に会することができます。

I 学生ホール



Wi-Fiが使える憩いのスペース！自習などに自由に使うことができます。お弁当や学食を食べながら交流を深める場所でもあります。

S MAP



C



食堂

食堂は、大きな窓から自然光をたっぷり取り入れた、明るく広々としたくつろぎ空間！

野菜を中心とした、たくさんのお惣菜から選べるヘルシーな「お惣菜バイキング」が特徴です。

【営業時間】月～金：11：30～13：30
※土・日・祝日はお休みです。



K



大学生協（購買・書籍店）

文具、教材など授業に必要なものから、昼食、お菓子も購入できます！お店にない商品でも、注文を受け付けてくれます。

【営業時間】月～金：10：30～16：30 ※土、日、祝日はお休みです。

F

トイレ



新しく講義棟にトイレが増築されました！女性用トイレには、フィッティングボードやパウダールームが完備されています。

A

附属図書館



蔵書数約7.5万冊！閲覧座席やAVブース、グループ学習室も完備されています。ネット検索ができるPCコーナーや、中庭を望みながら新聞や雑誌が読める「ブラウジングスペース」が特徴です。

H

講義棟



大人数の講義では、独特の緊張感！講義棟には講義室8室、演習室12室があります。大講義室は150名が会することが可能で、講義以外にも県内看護職者の研修や研究会にも利用されています。

J

附属看護博物館



国公立大学初の看護博物館！三重の看護に関するさまざまな資料を収蔵しています。



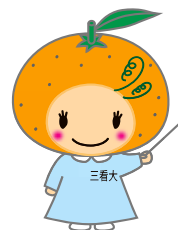


データでみるみかんだい

平成27年度 三重県立看護大学 (看護学部看護学科) 特別入試及び一般入試合格者等の状況

- (1) 特別入試 地域推薦入試B：平成26年11月8日(土)
 地域推薦入試A・帰国子女入試・社会人入試：平成26年11月22日(土)
 地域推薦入試C：平成27年2月7日(土)

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
地域推薦入試A	30名(地域推薦入試Bの5名程度を含む。)	91名	91名	27名
地域推薦入試B	5名程度	13名	13名	4名
地域推薦入試C	5名	10名	10名	5名
帰国子女入試	若干名	0名	0名	0名
社会人入試		0名	0名	0名
合計	35名	114名	114名	36名



- (2) 一般入試 前期日程：平成27年2月25日(水)、
後期日程：平成27年3月12日(木)

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
前期日程	50名	287名	262名	57名
後期日程	15名	241名	92名	15名
一般入試 計	65名	528名	354名	72名

- (4) 志願倍率

入試区分		H27	H26
特別入試	地域推薦入試A+	3.5	1.9
	地域推薦入試B		
	地域推薦入試C	2.0	—
	計	3.3	1.9
一般入試	前期日程	5.7	4.0
	後期日程	16.1	8.4
	計	8.1	5.7

- (3) 学部合計

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
看護	100名	642人	468人	108人

*志願者数÷定員で算出。 小数点第2位を四捨五入

国家試験対策について

今年の看護師・保健師・助産師国家試験は平成27年2月に実施され、3月25日に合格発表がありました。本学は看護師・保健師・助産師国家試験の受験生が全員合格いたしました。合格率は、全国の大学よりも高く、開学以来最も良い結果で、全員よく頑張りました。

本学では毎年、100%合格を目指して授業、補講、模擬試験などを通して学習支援を行っています。平成27年度の模擬試験は、3年次に低学年模試、4年次に看護師模試4回、保健師模試2回、助産師模試3回の予定です。外部業者の補講を9月と11月に、さらに後期10月から12月に本学教員による国家試験中心の授業を15回行う予定です。今後とも皆様の応援をよろしくお願いいたします。

	看護師	保健師	助産師
受験者数	94名	94名	10名
合格率(平成27年)	100%	100%	100%
全国合格率(新卒)	90.0%(95.5%)	99.4%(99.6%)	99.9%(99.9%)

就職状況 平成26年度卒業生94名の就職状況です

就職状況

看護師：81
 保健師：2
 助産師：10
 進学：1

主な県内就職先

社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
 社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院
 伊賀市立上野総合市民病院
 地域医療支援病院 四日市市立四日市病院
 国立大学法人 三重大学医学部附属病院
 独立行政法人国立病院機構 三重病院

主な県外就職先

名古屋市立西部医療センター
 一宮西病院

県内 48名 県外 45名

県内就職率
51.6%

おしらせ

企画展

「免状と写真で綴る 看護職者の歴史」

附属看護博物館では、「免状と写真で綴る看護職者の歴史」と題して第3期企画展を開催しています。

戦中の看護職者の写真や看護職の免状等の変遷から看護職者の歴史をたどります。

法律の改正により認可者が知事から厚生大臣に移行したことや呼称が変化していった経緯を合格証書、免状、免許証で確認いただけます。また、男性看護師の活躍や日本の看護を大きく変えたオルト少佐、専門化する現在の看護職者についても紹介しています。



路線バスに みかんだいの広告を 掲載しています

平成27年2月10日から、三重交通路線バスにセンタードア広告を掲示しています。中勢営業所管内2台、松阪営業所管内1台、伊賀営業所管内1台、伊勢営業所管内1台の計5台が運行しています。その5台のうち1台だけ、みかんちゃんがデザインされた広告になっています。このみかんだいのセンタードア広告バスは一年間運行する予定です。各営業所管内へお出かけの際には、ぜひ、みかんちゃんを探してみてください。



プロモーションビデオメイキング



現在、新しいプロモーションビデオを作成中です。この日は、県内の保健センターや病院で、実習の様子や看護職として活躍する卒業生へのインタビューを行いました。実習風景の撮影では、緊張しながらも保健センターに来られた方の健康チェックを行う学生の姿が見られました。卒業生へのインタビューでは、生き活きと仕事のやりがいについて語る顔に成長を感じることができました。7月のオープンキャンパスには完成の予定です。ご期待ください。

■□■□ オープン・クラスのお知らせ ■□■□

本学では、本学の学生向けに開設している正規の授業の一部を県民の皆様へ開放する、オープン・クラスを実施しています。このオープン・クラスは、どなたでも気軽に受講していただけます。

平成26年度後期は、平成26年10月14日から平成27年2月12日にかけて開講されました。受講者の方からは「若い学生と一緒に学ぶことで良い刺激を受けることができた」と好評をいただきました。オープン・クラスは平成27年度も開講いたしますので、ぜひこの機会をご活用ください。



附属図書館からのお知らせ

附属図書館は、学部生や大学院生の看護系学術情報の活用について積極的な利用者教育を展開しています。特に医療系学術データベースの代表である『医学中央雑誌Web』や『メディカルオンライン』、さらにアメリカ国立医学図書館の『PubMed (パブメド)』など、国内はもとより国外の文献についても情報処理教育と連携して講義や演習を行っています。

科学的根拠に基づいた看護ケアが強くと求められる昨今、臨床実習のまとめや卒業論文、修士論文の執筆に役立つ学術情報の検索や活用は必要不可欠です。附属図書館では、業務委託先の(株)紀伊國屋書店から医療系データベースを専門とする講師を招へいし、より質の高い内容を学生に習得させています。今後は、対象を卒業生や地域の看護職の方々にも広げていく予定です。



情報センターからお知らせ

平成27年4月、本学の学内情報ネットワークシステムを全面入れ替えました。本学の情報ネットワークシステムは、平成9年の開学時に初代のシステムが導入され、今回が5代目となります。新しいシステムは、学内サーバー11台、教職員用端末140台、学生用端末122台、講義室端末8台のほか、ネットワークプリンタ21台と過去最大で教育研究部門および事務部門の円滑な処理を可能としています。特に今回の変更点は、学生が資料レポート管理システムを学外から利用することが可能となったことや大学院生が利用するプリンタを複合機に変更してコピー、スキャン、カラー印刷を可能としたことです。これらの変更点は、いずれも学生や大学院生の要望をもとにシステムの設計を行ったものであり、情報センターでは今後も教育研究環境の改善、充実をめざして努力をしていく所存です。今後も情報センターの運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



生協では組合員証をICカード化しました。

あらかじめチャージ(CPプリペイド)しておけば、食堂やショップの利用時に現金なしでご利用いただけるようになりました。衛生的で混雑解消になっています。

また、100円毎に1ポイントが加算され、200P貯まれば200円分に自動チャージ振替えされます。しかも、登録しておけば食堂で何を食べたのか、ショップで何を利用したのかが日別にスマホやWebでご覧いただけます。

もちろん現金での利用もできますし、今まで通り書籍等の10%割引は変わりません。

これからも親しみやすく利用しやすい、学生・教職員の皆様に喜ばれる生協として頑張ります。



EVENT INFORMATION

みかんだいオープンキャンパス

平成27年7月25日(土)

10:00～13:30 (受付: 9:30～)

みかんだいオープンキャンパスでは、三重県立看護大学をより深く知っていただけるよう、大学紹介や模擬授業、看護体験などを行います。

また、入試説明会やインターネット出願体験、個別相談なども実施します。オープンキャンパス特別学食メニューもご用意していますので、ぜひこの機会にご参加ください。

津駅西口から本学まで無料シャトルバスを運行します。参加申し込み方法等は、本学ホームページをご覧ください。



高校生のための看護職キャリアデザイン講座

ステップ2 一日みかんだい生

- ① 平成27年8月18日(火)
 - ② 平成27年8月19日(水)
 - ③ 平成27年8月20日(木)
- 10:00～16:00

※①～③の3日間のうち1日

看護系大学への進学を考えている高校生の皆さんを対象に、看護職者としての、より具体的な将来像をイメージしてもらうための講座です。受験生だけでなく、1・2年生も大歓迎です。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。



教育懇談会

平成27年9月12日(土)

学生の修学状況、生活状況および就職状況等の説明を行います。また個別面談として在学中の成績を中心に保護者と教員とが対面形式による面談を行います。特に4年生は国家試験対策を中心に修学の相談をする予定です。また他の学年の学生につきましても、修学、学生生活、就職等に関する助言、相談を受けていただけます。この機会に、ぜひご参加ください。



*企画の内容や日程等は変更となる場合があります。

詳細が決まり次第、順次ホームページに掲載します。

お問い合わせ先

三重県立看護大学 事務局企画広報課
TEL: 059-233-5696
FAX: 059-233-5666
MAIL: kikaku@mcn.ac.jp

平成27年度キャンパススケジュール

三重県立看護大学の年間スケジュールです。

- 6/13 (土) 夢緑祭・後援会総会
- 7/25 (土) オープンキャンパス
- 7/27 (月)～8/7 (金) 前期定期試験期間
- 9/5 (土) 平成28年度大学院入試(一次募集)
- 9/7 (月) 基礎看護学実習Ⅱ
- 9/12 (土) 教育懇談会
- 9/14 (月) 領域別看護学実習開始
- 10/13 (火) 後期授業開始
- 11/7 (土) 平成28年度特別入試(地域推薦B)
- 11/21 (土) 平成28年度特別入試(地域推薦A)
- 12/12 (土) 平成28年度大学院入試(二次募集)
- 12/23 (水) 卒業研究発表会
- 2/3 (水)～2/16 (火) 後期定期試験期間
- 2/6 (土) 平成28年度特別入試(地域推薦C)
- 2/25 (木) 平成28年度一般入試(前期日程)
- 3/12 (土) 平成28年度一般入試(後期日程)
- 3/19 (土) 卒業式・修了式

同窓会よりお知らせ

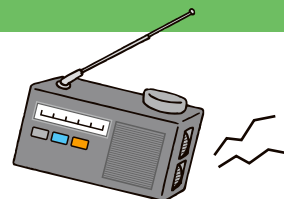
この度、地域交流センターの会議室を同窓会事務局として利用させて頂けることになりました。これまでには主に中会議室を利用させて頂いておりましたが、週末であっても打ち合わせや行事の控室として使用されていることがあり、その際は学生ホールを利用していました。これからは、部屋の心配をすることなく活動ができるようになりました。また、これまで地域交流センターとは、ホームページで公開講座等の案内をする程度の関わりでしたが、事務局設置を機に様々な面で連携・協同していきたいと考えています。



FM三重出演中

三重県立看護大学の教員と学生が、FM三重の番組に出演し、情報をお届けしています。

ぜひ、チェックしてください！



「EVENING COASTER」(毎週月～木17:00～18:55)

毎月第1木曜日のTOPIC(17:27頃からの5分コーナー)「Let's Healthy Life」に本学教員が出演し、心と体の健康に役立つ話題をお届けしています。

「Campus Cube」(毎週金曜日20:30～20:55)

県内の4つの大学が共同で、学生自ら出演し、自由な雰囲気の中、日ごろの関心事や考えていることなどをお届けしています。

編集後記



平成27年度より、MCNレポートを年4回発行とします。これからは、より旬な情報をより早く皆さんにお届けします。新たに教員インタビューなどの連載もスタートしますので、本学を少しでも身近に感じていただければ幸いです。最後になりましたが、編集に関係していただきました皆様に感謝します。

広報WG

みかんだい通信配信中！

三重県立看護大学(三看大)では、メールマガジン「みかんだい通信」を発行しています。

毎月1日、15日に三重県立看護大学に関する最新の情報をお届けします。ぜひ、ご登録ください！



公立大学法人
三重県立看護大学

〒514-0116
三重県津市夢が丘1丁目1番地1
TEL 059-233-5600(代)
FAX 059-233-5666
<http://www.mcn.ac.jp/>



本学キャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。